



— みんなで作って遊ぼう！（造形遊びデー） —



21日（金）に全校で『造形遊びデー』が行われました。「造形遊び」とは、材料や場所、行為などに出会って何かを作り出すものです。この日は、体育館に全校児童が集まり、低中高学年に分かれて造形活動を行いました。

最初に、教頭先生からこの造形遊びのやり方の説明がありました。そして、各学年の材料の発表がありました。低学年は段ボール、中学年は新聞紙、高学年はスズラントープを材料に行いました。

低中学年の子どもたちは、開始の合図とともにすぐに活動が始まりました。一人で黙々と作業に取りかかる子や友達と相談しながら作業する子など、それぞれの思いを持って作業していました。

高学年の子どもたちは、すぐには作業にかからずみんなで集まって「どうするか」の相談をしていました。なんとなくイメージが共有され活動に取りかかりました。

低学年では、段ボールを組み合わせてグループで力を合わせ「お家」や「バス」を作ったり、一人で「ロボット」を作ったりしました。子どもたちならではの素晴らしい発想で、感心させられました。



バスです



大きな家です



ロボットたち

中学年では、新聞紙を丸めたり、細く伸ばしたり、切ったりと色々工夫して物作りを行いました。「お家」「バレーボールネット・ボール」「大蛇」「大きな玉」などができました。



大玉です



大蛇です



剣士です



バレーボール

高学年では、体育館の肋木や鉄棒、与えられた空間を存分に使って活動を行いました。スズランテープを体育館の端から端に幾重にも渡らせたり、肋木をキャンバス代わりにして絵を表現したりと、高学年らしさのあふれたものができました。



最後に、みんなで作品の鑑賞をしました。それぞれの作品の良さを存分に味わうことができていました。全体の感想の中では、「みんなよく考えて、色々なアイディアがあってすごいと思いました。」「みんなで力を合わせて作品を作ることができて楽しかったです。」などが発表されました。普段の学級の図工の時間だけでは味わえないスケールの大きな時間を過ごせました。とても良い経験になりました。これからも大いに発想を活かして色々な作品作りに挑戦してほしいと思います。期待しています！